

議長定例記者会見 会見録

日時：令和4年2月4日 10時30分～

場所：全員協議会室

1 冒頭の挨拶

2 質疑項目

- 令和3年度「みえ現場 de 県議会」について
- 新型コロナウイルス感染症への対応について
- 地域紙での議長の活動報告について

1 冒頭の挨拶

(議長) 皆さま、おはようございます。昨日は節分ですし、今日は立春ということで、暦の上では春なんですけども、まだまだ寒い日が続いてございます。記者の皆さまには、大変お忙しい中ご参集いただきましてありがとうございます。ただ今から2月の議長定例記者会見を開催いたします。

まずは、1月30日に三重県津市出身の、私の地元でございますけれども、戸上隼輔選手が卓球全日本選手権のシングルスとダブルス、両方で初優勝しまして、大会二冠を達成されました。誠にありがとうございます。三重県出身の方が全日本選手権シングルスで優勝するのは、男女通じて初めてのことでございますので、今後ますますのご活躍を期待しているところでございます。

本日、発表事項は特にございませんが、現在の新型コロナウイルスの感染拡大状況や2月17日から始まる2月定例会月会議について、少し所感を述べさせていただきます。

本県においては、新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」の感染急拡大を受けまして、昨日も千人を超えてございましたし、1月21日から2月13日まで「まん延防止等重点措置」が実施されております。なお、特に重点措置を講じる区域につきましては、1月31日からは東紀州地域の5市町が追加されまして全市町が対象となっております。事業者の皆さまには、営業時間の短縮等を、本当にそういった部分を要請させていただいて、ご苦勞をおかけしておりますがご協力をお願いしたいと思います。県民の皆さまにおかれましては、併せて、行動を制限することになり大変申し訳なく思いますが、ご協力をお願いするとともに、「オミクロン株」の感染力の強さも踏まえまして、感染防止対策をしっかりとお願いしたいと思います。

また、過日でございますけれども、2月1日、東京で開催が予定しておりました近畿自動車道紀勢線建設促進協議会促進大会は、新型コロナウイルスの影

響で残念ながら延期となりました。県民にとりましても重要な事業でございます。延期は非常に残念で、知事も同じ気持ちであろうかなと思います。三重県議会といたしましても、引き続き、早期完成に向けまして関係団体と緊密な連携を保ちながら、国等に要望してまいりたいと考えております。

次に、2月定例会議についてでございます。2月定例会議では、一見知事が初めて編成される当初予算や、今後約10年間の県政運営の道筋を示す長期計画「強じんな美し国ビジョンみえ（仮称）」と、2026年度を目標年度とする中期計画「みえ元気プラン（仮称）」が示されまして、本格的に審議を行うこととなります。この二つの計画を、この2月定例会議等でしっかりと審議したうえで、6月に議案として提出される見込みとなっております。当初予算について知事は、「新型コロナウイルスの感染対策、人口減少対策および大規模災害などのリスクの解消に向けしっかりと取り組む。」とおっしゃっておりまして、県民の命とそして暮らしを守る重要なことから、議会としましても慎重に審議を行っていききたいと考えています。

さて、議員の任期もあと1年2ヶ月を残すところとなっております。令和4年定例会は12月までの長丁場となりますが、全議員で県政の諸課題等を活発に議論していきたいと考えています。

最後に、令和3年度「みえ現場 de 県議会」について開催方法の変更がありましたので、副議長のほうからお願いしたいと思います。

（副議長）では失礼いたします。私のほうからご説明をさせていただきます。

12月の議長定例記者会見で、「みえ現場 de 県議会」を2月7日月曜日、午後1時半からくわなメディアライヴで、「コロナ禍からの復興に向けて」をテーマに開催することを発表させていただきました。先ほども議長申し上げましたとおり、1月に入り、全国で新型コロナウイルスの感染者が急激に増加し、三重県にも「まん延防止等重点措置」が適用されました。このような状況を踏まえ、2月2日に資料提供させていただきましたとおり、2月7日の「みえ現場 de 県議会」は無観客で実施することとし、傍聴者の方々は、オンラインでご視聴いただく形に変更いたしました。視聴の方法は、Zoomのアプリをダウンロードし、三重県議会のホームページでお知らせしている「ID」を入力していただきましたら、どなたでも傍聴していただくことができます。詳しくは、三重県議会のホームページをご覧ください。ご不便をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

「みえ現場 de 県議会」自体は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底したうえで、予定どおりくわなメディアライヴで行いますので、報道機関の皆さまにおかれましては、当日の取材等につきまして何卒よろしくお願い申し上げます。私からは以上です。

(議長) 以上で、2人からの発言を、終わらせていただきます。

2 質疑応答

○令和3年度「みえ現場 de 県議会」について

(質問) 幹事社から、まず副議長にお聞きしますが、「現場 de 県議会」って、例年というかですね、無観客というおっしゃり方されましたけど傍聴に来られる方がどれぐらいみえるものなんでしょうか。

(副議長) これまでの実績は、どうですかね。何人くらいというのはちょっと私、実績の数字まで、傍聴の数の把握はしてない。

(事務局) 資料を1枚めくっていただきますと、過去の数字が書いてあります。

(副議長) ごめんなさい。参考資料、今、皆さんのお手元に2枚の紙配ってもらってありましたね。この参考のところ、過去の実績平成22年から、ずっと順にありますので、これ見ていただくと、県民の方の数も議員の参加者の数も書いてもらってありますので、こちらをご参考にしてください。

(事務局) 補足をさせていただきます。この参加者というのは、意見交換をさせていただく方の人数でございます。傍聴の方々というのは意見交換をご覧いただくという形で、発言はしていただくことはできません。その人数はこの中には入っておりませんので、2年前の令和元年の三重大で行ったときは、だいたい全員合わせて40人くらいの方の人数の方に来ていただきました。

○新型コロナウイルス感染症への対応について

(質問) あと、もう一点、議長にお聞きしますが、冒頭のご挨拶にコロナの状況あったかと思えます。近隣県だと今のまん延防止等重点措置ではなくて、緊急事態宣言が必要なんじゃないかというような、愛知県なんかそうなんですけど、というような状況の中で、今後、三重県としてどういう対策をとっていけばよいかというお考えをお聞きできればと思います。

(議長) 昨日も知事が会見でいろいろ述べてみえましたわけでございますけども、特に1,013人と過去最多ということがありましたので、増加傾向が続いており、予断を許さないという状況は認識してございます。今後どうするかについても、非常に難しい部分もあると思えますけども、県内全域に現在、まん延防止等重点措置を適用して対策を強化しておりますので、私どもとしては、

私個人か分かりませんが、1日も早く新規感染者数のピークを超えて収束していくことを、ただ願うばかりということでございます。私どもの役割としては特に県議会におきましては、今打ち合わせ等が進んでおりますけども、2月10日に今定例会第1回の緊急会議を開催して、時短要請に協力いただいている事業者への協力金に係る補正予算を審議して、迅速に協力金を届けられるように、同日10日中に採決する予定でございますので、あとは、やはり県民の皆さま、私ども正副議長で9月に呼びかけをさせていただきましたけど、さらに、あらためてマスクの着用、手洗いといった基本的な手指消毒など、感染防止対策の徹底をお願いするばかりでございます。

○令和3年度「みえ現場 de 県議会」について

(質問)「現場 de 県議会」の関係ですけれども、傍聴者というのは、これまで事前申し込みなどがあったのでしょうか。

(副議長)一応ですね、事前申し込みを取ってませんので、事前に何人つてのは特に把握はしてないので、これからホームページ等で傍聴ができないと、オンラインでっていうことをしっかり告知を今しているところですけども、そのような対応をしていきたいと思えます。

(質問)ちなみに、ある意味その現場で傍聴してもらうより、オンラインにした方が、皆さん手軽に見れるかなという気はしますけれど、コロナ禍でそういった新しい取り組みも進んでいる中ですけど、ある意味副議長としてオンラインに切り替えるという点についていかがですか。

(副議長)そうですね、基本的にこの「現場 de 県議会」はこれまでも、やっぱり現場の生の声とか、やっぱり熱い思いっていうのを大切っていうことで、その現場ですることによって意義があるっていう、名前のとおりですね、これはそういう基本はあるんですけども、ただ、今言っていましたように、当然開催は現場でやりたいって思いがありましたので、できればオンラインではなく、このメディアライブが閉館にならない以上はここでやるってことを決めておったわけですけども、その開催したものをオンラインでやることによって、今言っていたように多くの方から見ていただく機会が増えたっていうふうにもプラスに捉えることもできると思えますので、そういった効果がもしかして出てくるのであれば期待したいなと思えます。

(質問)2ページ目の東京大学と企業から来ていただく方、オンライン参加という形になってますけど、これは当初からではなくて、もともとは現場に来て

もらう予定だったということですかね。

(副議長) いえ、このお二人は当初からオンラインの予定でして、今回はコロナの感染拡大状況云々は別として、ハイブリッド開催ということを広聴広報会議のほうで議論しまして、地元の企業の皆さんは当然現場に集まっておりますけれども、三重県出身で、東京で、このコロナの中、いろいろとご苦労された若者の声もしっかりそこで聞いてみたいっていう声もありましたので、そのお二人は、当初からオンラインでの参加の予定でありました。

○新型コロナウイルス感染症への対応について

(質問) まん延防止等重点措置のことであらためて伺いたいんですけども、感染状況ずっと続いてまして、この中で来週13日にまん防の期限を迎えるわけですけども、県議会として、あるいは議長としては、重点措置はこれから延長することが必要だと考えてらっしゃるか、あるいはより強い緊急事態宣言などの措置が必要だと考えてらっしゃるか、そこについてあらためてどのような思いを持ってらっしゃるか教えていただけないでしょうか。

(議長) 来週早々の状況は、やはり見極める必要があるのかなと思ってます。今日、また明日、明後日を含めまして、どういう感染状況が推移するのかも影響してくると思います。知事のほうも時によっては、まん延の延長も考えてみえるようなご発言もございましたけども、その来週の状況によって、私自身も同じような思いをしております。

(質問) そうした時に、県議会としては執行部のほうに、議会としては延長を判断するにあたってこういったことを気をつけてほしいとか、あるいはこういったことを申し入れたいといったようなことがもしありましたら教えていただけないでしょうか。

(議長) 先日の21日の全協でもいろんなご意見が出て、その後の状況によって、例えば東紀州地域が追加されるなど、敏感に状況見ながら執行部のほうも判断をして遂行されておりますので、今後もそういった、今、全県が対象となつてございますけど、中身の細かい部分で何かこう修正する部分が出てくれば、また申し入れもする必要があると思いますが、今のところは様子を見ながら、協力金等を受けてみえる飲食店さん方の悲鳴も連日聞こえてきているところでもございますし、その中身についてのことでまたご意見あれば、申し入れすることもあろうと思いますけども、今のところ様子を見ながら、協力金の延長の可能性は、思いとしてはあるかなと思います。

○地域紙での議長の活動報告について

(質問) とある地域紙に議長の活動報告のような広告を拝見いたしました。

(議長) 今朝の。

(質問) その意図はいかがですか。

(議長) ありがとうございます。

(質問) 写真もたくさん載っていました。

(議長) ありがとうございます。本来例年ですと、一般質問をさせていただいたりとか、そういう機会があるので、そういったQ&Aとか主体で載せたり、地域活動の詳しいものを載せたりするのがあるんですけども、今回は議長という立場もございますので、なかなか質問の機会もないとかございますので、一般の方、議長何しとんのかなというような声も耳に入ってくることもありますので、議長は議長としての役割があるのでということと、もう一つは特に昨年、途中から議長になったわけですけど、令和3年一年間を振り返ったときに、前半は県連の幹事長をさせてもらっていて、後半は、5月からは議長をさせてもらっていますけれども、常に県民のために何をすべきかということを考えておって活動もさせていただいておりますので、その中でその都度その都度どういった、例えば予算が上がっていて、県民のためにこういうふうな議決をしてつながっているということの紹介も、予算面の部分をしたかったし、あとはそれ以外にも議員勉強会の開催だとか、紀伊半島三県議会交流会議のこともなかなか一般の方が知ってみえない部分もあるのかなということで、ご紹介も兼ねてということもありますし、特に左の紙面のほうは私の議長の任期中に今まで疑問に思っていた県民から質問が来たときに、なかなか答えにくい部分があっちはいかんと思うんですね。そういった部分は是正していきたいなということで皆さんに呼びかけて納得いただいて、そして改革していったということも紹介したかったかなと、そういうようなことをございます。以上ですが、よろしいでしょうか。

(質問) 全然よろしいんですが、あれ配布エリアってどの辺りになるんですかね。配布されているのはどの地域になりますか。

(議長) 津市内だと思いますけどね。

(質問) そうすると、ダメだとかそういうわけじゃなくて、議長としてのご活動であったりとかを報告するのであれば、例えば全域とか、三重県民全員がそれを見れたりするほうがたぶん公平に、議長としてということであれば、だと思いますが、そこをあえて津市内のというところで掲載しているというその狙いは。

(議長) 狙いというわけではないんですけども、三重県全体でしたら県議会だよりもありますし、もうじき出るのかな、3月に出る県議会新聞もありますし、また定例に出しているものもありますので、そういったところで垣間見ることができると思うんですけども、やっぱり日頃私も津市に住んだる以上は、いろいろな形で直接ご意見を聞いたりさせていただくことは津市内の方が多いのかなと。その方々の疑問にも答えていくのも一つ大事な事かなということ、たまたま今回に限ってああいう形で出させてもらったということでございます。そんなに深い意図はございません。

(質問) 他はよろしいですか。ありがとうございました。

(議長) どうもお付き合いいただきましてありがとうございました。来月もよろしくお願いします。

(以 上) 10時53分 終了